

(04表6) 学内研究者の一時支援実績

支援対象要件	2010年度 (後期)		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
妊娠中				3		1									4
産休・育休明け	3		1	2	1	1		10		6		8	1	7	40
介護中		2	1	5		3		2		2	4		2	2	23
病气看護中					2	2	2		2						8
小計	3	2	2	10	3	7	2	12	2	8	4	8	3	9	75
合計	5		12		10		14		10		12		12		

※前期・後期合わせた延べ人数、随時受付型による被支援者も含む

【主な支援内容】

実験・調査の補助、データの入力や整理、データ分析・解析補助、図表などの校正・整形、論文作成補助、情報の検索・収集、研究費申請書類作成補助、学会発表準備補助、翻訳、事務手続き・会計処理、資料整理など。

【支援による効果】(2016年度前期の被支援者によるコメント) ※個人が特定される情報は省いている。

・業務が多忙で自分の研究に時間を割くことができませんでしたが、それでも、昨年度は電子ブックをやっと完成させることができましたし、国際学会での発表も行うことができました。また、分担執筆ではありますが、日本の教育者を取りまとめる事典(英語)の制作に携わることもできました。これは、デスクリサーチのみならず、定量調査のノウハウを持っている支援者に助けていただいたおかげで、様々な作業が非常に迅速に進んだことが大きく影響しています。本当に感謝しております。(産休明けの支援、女性)

⑧みがかずば研究員制度

本学では、2012年度に、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ女性研究者の養成・確保に資するため、本学独自の特別研究員(呼称:みがかずば研究員)制度を導入した。

この制度により、優れた女性研究者の継続的な研究活動をサポートするとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供する。これらを通じて、学位を取得した女性研究者が様々なライフイベントに臨みながら研究者として自立することを支援する。対象分野は人文・社会科学及び自然科学の全分野としている。2016年度は14名採用し、うち1名が常勤教員(私立大学講師)、1名が専門研究員(私立大学)、7名が次年度も継続してみがかずば研究員として採用された。詳細は02-3-5女性研究者のための研究継続奨励型「特別研究員制度」を参照されたい。

⑨子育てサロンの実施

2010年度より、昼食をとりながら子育てをテーマに談笑する「子育てサロン」を開催している。2016年度は4回(第23回4月26日:4名、第24回6月28日:10名、第25回9月28日:10名、

第 26 回 2 月 28 日 : 10 名) 開催した。

第 25 回子育てサロン(04 図 9)は、本学が代表機関を務める「女性研究者研究活動支援事業(連携型)」の連携機関である芝浦工業大学と物質・材料研究機構(NIMS)の方々にもご参加いただいた。様々な話題が上がる中、「子どもの預け先」については居住地による差があること、子どもを預けられない場合に近所の方々や民生委員に依頼して乗り切る方法、さらには外国人が日本で子育てを行う場合の問題などについて意見交換がなされた。また、「子育て」に関わる悩みは、子どもが小さいときだけではなく、大学生になっても様々な問題があることも話題となった。

参加者からは、「芝浦工大でも始めてみようと思いました。ケアミーティング、セクマイミーティングも。インフォーマルネットワークの大事さを思い知りました」、「大変有意義な取組だと思いました。機構においても同様の試み(子育てサロン)を立ち上げてみたいと思います」、「子育ての課題は、時代を越えて、続いていると感じました」などの感想をいただいた。



(04 図 9) 第 25 回子育てサロンの様子

○情報支援

⑩人材バンクの運営

人材バンクは、本学の研究者の補助的業務(研究/実験/事務補助など)を、本学の卒業生・修了生に紹介するシステムである。2016 年度は 2015 年度に構築した登録フォームや登録者情報閲覧システムを広く活用いただくよう、広報に努めた。登録者は 2016 年 4 月の 48 名から 2017 年 3 月には 73 名まで増加し、学内研究者の研究補助者として活躍している。詳細については、研究所ホームページに掲載している。

※COSMOS 人材バンク

<http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/propulsion/groupingmenu/humanresources/index.html>

⑪メールマガジンの発行

本学に所属する教員(非常勤、研究員、PD 含む)、事務職員、学生を対象に、本学で実施する「子育て支援」や「研究者支援」に関する情報を毎月 1 回(月初め)希望者へ配信している。2015 年 6 月からは「介護・看護情報」を加え、有益と思われる学内外の情報を積極的に収集して紹介している。2016 年度は第 62 号~第 72 号の計 11 回配信した。

⑫男女共同参画意識啓発イベントの開催

現在、少子化や核家族化により、ちいさな子どもに接する機会が少ないことから、「子ども」という